

ふれあい大阪

No.60 2022年
6月15日

発行責任者 松本昌三
編集責任者 山本 修

〈発行所〉大阪退職者連合 大阪市中央区大手前2-1-7
大阪赤十字会館5階／連合大阪内(☎540-0008)

Tel 06-6949-1105
Fax 06-6944-0055

3年ぶりに大阪高齢者集会を開催



●全員で団結ガンバロー

6月7日(火)大阪退職者連合は、ドーンセンター7階ホールに250人の仲間が結集し「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」のスローガンのもと「2022大阪高齢者集会」を開催しました。

高齢者集会の司会は木下副会長が担当し、第1部は大阪府退職女性教職員の会の紹介で、弦楽四重奏の演奏を披露していただきました。第2部では、主催者を代表して徳永会長、来賓として連合大阪田中会長、日本退職者連合の草野副事務局長のあいさつを受け、参議院選挙大阪選挙区の立憲民主党の石田敏高予定候補、国民民主党の大谷由里子予定候補から闘う決意をお聞きしました。

引き続き基調報告を、松本事務局長から提案しました。基調報告は、①「クラシノソコアゲ」キャンペーンと連携した社会保障制度の充実として、現役の皆さんの賃金引き上げを支援し、現役世代の所得拡大を高齢者の社会保障に繋げる

こと、②通年の取り組みとなった介護保険と高齢者福祉制度に特化した取り組みの推進、③政治への取り組みとして、第26回参議院選挙において、選挙区での連合支持政党候補予定者の躍進と、連合加盟産別比例代表9候補予定者の必勝を期して闘います。それが2023年4月の統一自治体選挙へと繋がるものです。基調報告に続いて清水副会長から参議院選挙の必勝決議、中村副会長から集会宣言が提案され、集会参加者全体で採択し、最後に徳永会長の声をあげての「団結ガンバロー」で締めくくりました。

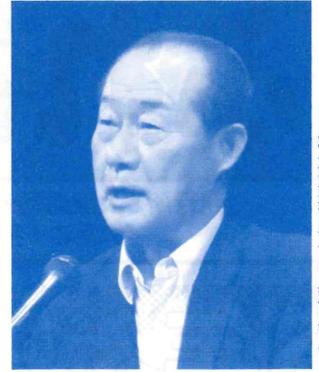
●弦楽四重奏の演奏で集会に華をそえた



2022年



高齢者集会の 基調報告



●松本事務局長の基調報告

社会保障制度の充実を

今年2月24日に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻は全世界に自由と民主主義そして平和の大切さを教示しているとともに、エネルギー関連、物流関連などの高騰で物価は急速に高くなっており、日々の買い物などで実感しておられると思います。

また、バブル経済崩壊やリーマンショックから立ち直った日本経済は、過去30年程度の経済運営や方針の問題により、デフレ経済が継続し、株主中心の企業運営や一部の大企業などの史上最高益など、企業の内部留保は拡大していますが、それに対して労働者の賃金は伸び悩んでおり、今や日本の賃金水準は先進国の中では下位にランクされています。

その結果として、労働者や企業・団体が納める税金や社会保険料が増加せず、高齢者の年金や医療・介護保険などに大きな影響を与えています。大阪退職者連合は、現役世代の賃金引き上げなどを側面的に支援し、現役世代の所得拡大を高齢者の社会保障充実につなげることが大切な取り組みです。

一方、コロナ不況と言われる状況下において、立場の不安定な労働者への雇止めや子どもの貧困、今後予測される中小企業の倒産拡大、そして将来も現在も最大の課題である人口減少問題、即ち少子化対策、男女共同参画などに一層の対策を現役世代とともに対応していく必要があります。

介護保険と高齢者福祉制度に特化した取り組み

大阪退職者連合は、日本退職者連合が掲げる政策・制度要請の中でも、介護保険制度・高齢者福祉制度にポイントを絞って取り組んでいます。

介護問題は、介護を受ける高齢者だけの問題ではなく、家族を含めた介護を支援する現役世代の問題としても大きく顕在化しています。

大阪退職者連合は、大阪府域41自治体とくすのき広域連合に対し、2022年介護保険制度・高齢者介護保健福祉制度等に係る要請を実施し、すべての自治体などから回答を得ています。当初の予定では、回答を得た自治体等と可能な限り多くの意見交換を行う予定でありましたが、コロナ禍において「まんえん防止特別措置」期間と重複し、各自治体等との日程調整が整わず、本年は4月18日の大阪府との意見交換に留まりました。

自治体との意見交換のポイントは、①介護人材の確保、②新総合事業の充実、③介護と医療の連携強化、④災害対策としました。大阪府との意見交換では、府の医療制度の担当者が出席できずに、介護と医療の連携に関する意見交換ができていません。いずれにしても介護保険の実施主体は各市町村であり、大阪府は国と市町村との調整役的な側面が濃く、次年度以降は、具体的な意見交換を各市町村とできるように取り組みを進めます。

●第8期の保険料と第7期との比較(下記以外の自治体は保険料が増額)

保険料が減額	箕面市 柏原市 羽曳野市 高石市 藤井寺市 大阪狭山市 忠岡市 千早赤阪村
保険料が同額	貝塚市 交野市 能勢町 田尻町 岬町 くすのき連合

● 草野 日本退職者連合事務局長



2022大阪高齢者集会宣言

本日、大阪退職者連合は、250人の仲間を結集し「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！」のスローガンのもと「2022大阪高齢者集会」を開催し、現退一致で取り組みを強めていくことを確認した。

今、世界は「コロナ感染症」の影響により、閉塞感が漂い経済は停滞し社会不安を大きく招いている状況にある。日本においても5月末現在で、827万人が感染し3万人の方が亡くなっている。不断の感染症対策を強化し、早期収束に向けた取り組みを求める。

とくに、大阪においては人口比で突出した死者数を生む事態となっている。このことは、医療・衛生機関を縮小し人的資源を削減するなど、公衆衛生システムを崩壊してきたことが要因であり、維新が掲げる大阪における行政施策の誤りを示したと言える。

一方、2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、第2次世界大戦以降の国際秩序を大きく変え、危機的な状況にある。何としても平和な世界を取り戻すために、世界各国が協力し早期の停戦を強く願う。

日本の社会保障制度を取り巻く状況は、超少子高齢化・人口減少社会に突入し、経済・社会の変革とうねりの中で、格差拡大や生活不安が加速する厳しい環境の中にある。

2020年12月に全世代型社会保障の改革方針が閣議決定されたが、医療や年金のような従来型の社会保障に加え、子どもの貧困、育児・介護、教育や住宅など格差社会が生み出した新しいリスクへの対応が示されていない。また、地域包括ケアシステムの拡充にも公助の役割が重要性を増しているにも関わらず、生活するに足りない年金や介護職員の待遇改善など喫緊の課題にも十分に答えられない内容では、全世代の共倒れさえ憂慮される事態と言わざるを得ない。

大阪退職者連合は、運動の重点を「介護保険制度・高齢者保健福祉制度の充実」に置き、大阪府と各自治体に対し独自の要求活動を行ってきた。団塊の世代が75歳以上になる2025年には、介護職員の不足が43万人になり、2035年には79万人になるという試算が発表されている。介護保険制度をめぐる諸課題は今後も拡大することから、現状の問題点の解明を図りつつ、日本退職者連合、連合大阪などと連携して活動の充実を図ることとする。

また、大阪退職者連合の課題解決に取り組むためには、組織の強化・拡大が極めて重要である。日本退職者連合は「300万会員に向けた組織拡大の取り組み」を提起している。我々も連合大阪と連携し、既存組織の会員拡大はもとより地域での組織拡大に努める。

以上、宣言する。

2022年6月7日

2022大阪高齢者集会

連合・連合大阪推薦 比例候補者(予定)



かわい
川合孝典
たかのり

国民民主党
現職2期



はまぐち
浜口誠
まこと

国民民主党
現職1期



おにき
鬼木まこと

立憲民主党
新人



やた
矢田わか子
こ

国民民主党
現職1期



むらた
村田きょうこ

立憲民主党
新人



しば慎一
しんいち

立憲民主党
新人



こが
古賀ちかげ

立憲民主党
新人



たけづめ
竹詰ひとし

国民民主党
新人



いしばし
石橋みちひろ

立憲民主党
現職2期

2022年度近畿ブロックハイキング

in **京都**

日時 2022年**10月20日**(木) 11:30~

●主催者等挨拶 ●80歳以上参加者の表彰 ●健康準備体操 ●ハイキング出発

場所 **梅小路公園**(JR梅小路京都西駅下車してすぐ)

参加 **各組織で集約、多くの参加を!**

